

古河電工グループ° 2024年度第2四半期決算

2024年11月7日

古河電気工業株式会社

代表取締役社長 森平 英也

取締役 兼 執行役員 財務本部長 青島 弘治

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

24年度上半期決算および24年度通期予想

- 24年度上半期決算のポイント
 - 24年度通期予想見直し
 - セグメント別営業利益、期末配当予想
 - 事業環境と当社の取組み
 - 情報通信ソリューション事業の回復に向けた取組み
 - データセンタ関連製品群の強化
 - さらなる成長に向けて
- 24年度上半期実績
 - 要約P/L、増減要因（売上高・営業利益）
 - 24年度通期予想-要約P/L
 - セグメント別売上高・営業利益
 - 24年度上半期実績-要約B/S
 - 設備投資額・減価償却費・研究開発費

Appendix

24年度上半期決算および24年度通期予想

24年度上半期決算のポイント

■ 前年比で増収増益、想定を上回る進捗

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY23_H1	FY24_H1	前年比	
	a	b	b-a	
売上高	5,031	5,704	+673	すべてのセグメントで増収
営業利益	▲ 46	175	+222	サービス・開発等を除くすべてのセグメントで増益
経常利益	▲ 36	190	+226	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲ 41	112	+153	
銅建値 平均	1,241	1,497	+256	
為替 平均	141	153	+12	

■ 売上高および各段階損益の通期予想を上方修正

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	10,565	10,800	11,400	+835	+600
営業利益	112	250	380	+268	+130
経常利益	103	205	360	+257	+155
親会社株主に 帰属する 当期純利益	65	130	220	+155	+90
銅建値 平均	1,262	1,155	1,396	+134	+241
為替 平均	145	140	146	+2	+6

H2前提
銅建値：1,295円/kg
為替：140円/米ドル

* 2024/5/13公表

24年度通期予想見直し-セグメント別 営業利益

主なセグメントの営業利益

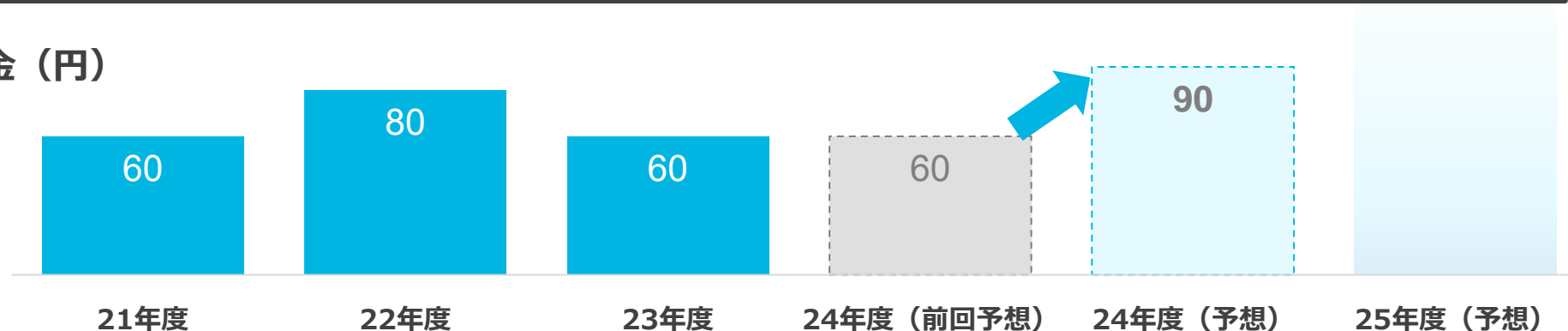
(単位：億円)											
セグメント	サブセグメント	H1	H2	FY23	FY24* 前回予想	H1	H2	FY24 予想	前年比	前回 予想比	状況認識
				a	b			c	c-a	c-b	
インフラ	情報通信ソリューション	▲ 60	▲ 69	▲ 130	▲ 60	▲ 58	▲ 2	▲ 60	+70	-	上期：想定をやや上回る実績 下期：テレコム市場の回復遅れ見込み
	エネルギーインフラ	▲ 26	44	17	35	29	21	50	+33	+15	上期：想定以上の実績 下期：想定通りの進捗見込み
電装 エレクトロ ニクス	自動車部品・ 電池	23	133	156	165	112	118	230	+74	+65	上期：受注安定による生産性改善 下期：上期状況が継続
	電装エレクトロ ニクス材料	6	25	31	45	31	14	45	+14	-	上期：製品ミックス等の改善・為替影響等 下期：エレクトロニクス市場の回復遅れ
機能製品		21	34	55	100	79	71	150	+95	+50	上期：HDD関連需要回復時期の前倒し 下期：データセンタ関連の強い需要継続
連結合計 (サービス・開発等、消去等を含む)		▲ 46	158	112	250	175	205	380	+268	+130	

* 2024/5/13公表

24年度通期予想見直し-期末配当予想

- 期末配当は、1株当たり90円を予想しております
(2024年5月13日公表の60円から30円増配)

1株当たりの年間配当金 (円)



親会社株主に帰属する 当期純利益	101億円	159億円	65億円	130億円	220億円	370億円以上
配当性向	41.8%	35.4%	64.9%	32.5%	28.9%	30%を目途

株主還元の方針

安定的かつ継続的に株主還元していくことを基本方針とし、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目途として業績に連動した配当を実施

事業環境と当社の取組み

		2024年度	2025年度以降
事業環境	マクロ環境	政治/経済の不確実性に起因する市場の振れが大きい状況が継続	
	北米テレコム市場	緩やかに回復	本格回復は25年度以降の見込み
	データセンタ・AI市場	前年から大きく伸長	拡大傾向が継続
	エレクトロニクス市場	スマホ、PC向け製品需要の回復遅れ	緩やかに回復
	自動車市場	生産台数低調、特に中国市場	生産台数は緩やかに増加
	半導体市場		
当社の取組み		収益力向上の取組みが前進	さらなる成長に向け取組みを強化・加速
	情報通信ソリューション	データセンタ関連製品の増産とラインアップ拡大	左記に加え、立ち上がるテレコム需要の捕捉
	エネルギーインフラ	利益重視の受注、施工能力の強化	左記に加え、広域連系線事業展開の準備
	自動車部品・電池	生産性改善・価格適正化が進展	電動車市場向け製品開発、自動化対応加速
	電装エレクトロニクス材料	製品ミックス改善・価格適正化が進展	顧客ニーズに沿った高機能材料の開発・供給
	機能製品	市場成長に伴う強い需要の捕捉（顧客対応力進化、生産体制整備、次世代製品開発等）	

- データセンタ市場は今後も成長、製品供給体制を強化し売上拡大を図る
- 海外テレコム市場の回復は緩やか、25年度以降の本格的回復に備えた準備を進める

市場見通し

データセンタ

光ケーブル・光部品とも需要好調、今後も高い市場成長の見込み

海外テレコム

北米は緩やかに回復、25年度後半からBEAD*1関連需要の本格的な立ち上がり

中南米は低調、回復不透明

主な施策

- データセンタ関連製品群の増産対応

ローラブルリボンケーブル



2倍

MTフェルール



5倍以上

DFBレーザ*2チップ



5倍以上

25年度の
製造能力
(23年度比)

株式会社白山とともに成長

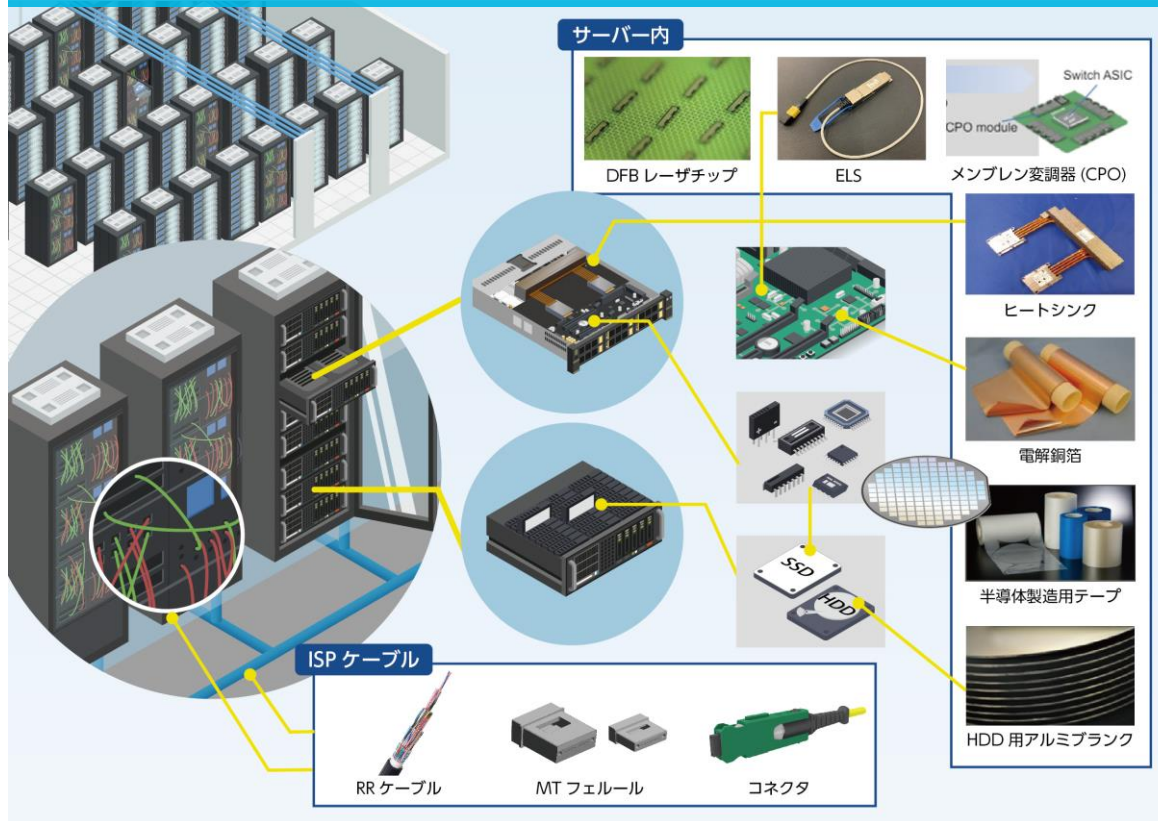
- テレコム市場の需要回復に備えた取組み（製造体制整備、生産性改善、セールスマーケティング活動強化等）を継続

*1 Broadband Equity Access and Deployment Program

*2 Distributed Feedback Laser（分布帰還型レーザ）

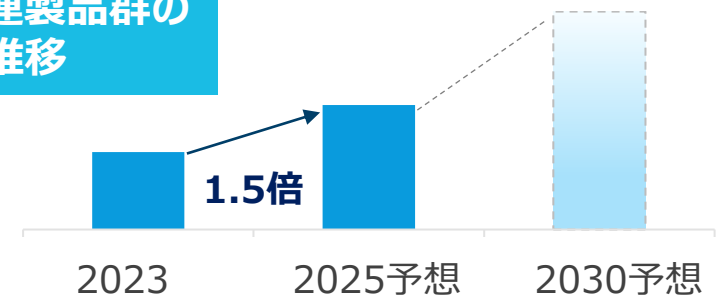
■ 今後も高い成長が継続するデータセンタ市場での売上拡大を図る

当社のデータセンタ関連製品群



DFBレーザ: Distributed Feedback Laser (分布帰還型レーザ)
 ELS: External Laser Source (外部光源)
 ISP: Inside Plant Cable (構内配線)
 RRケーブル: Rollable Ribbon Cable

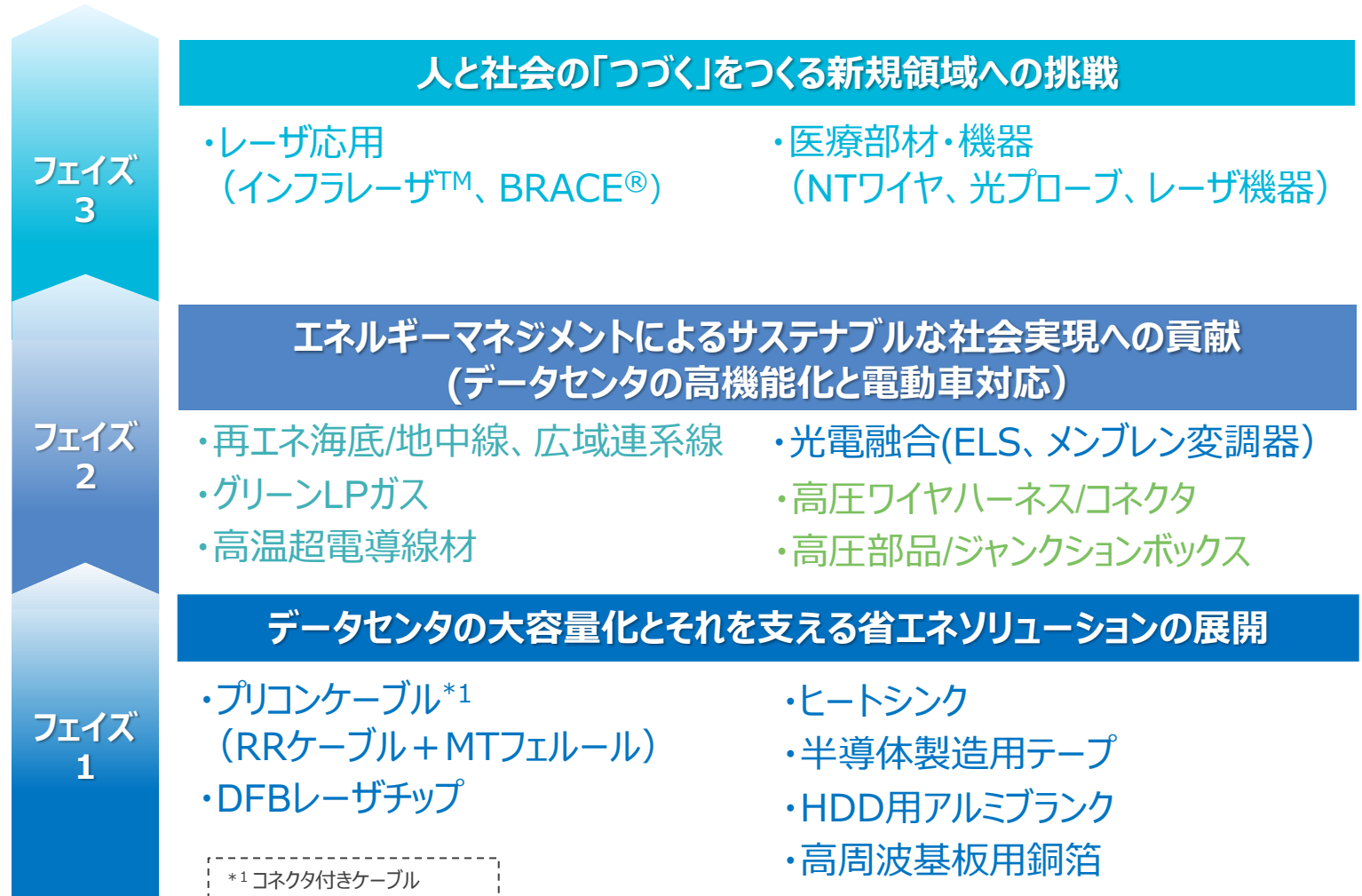
データセンタ関連製品群の売上高推移



主な施策 (機能製品)

- ヒートシンク** 需要好調が続く空冷品の供給体制整備、水冷工場新設 (26年度量産開始予定)
- 電解銅箔** 高周波基板用銅箔の供給力強化
- 半導体製造用テープ** 三重第2工場稼働 (25年度量産開始) により高付加価値品の供給力アップ
- HDD用アルミブランク** 需要回復/変動への柔軟な対応、薄型品による差別化

■ ビジョン2030の達成さらにはパーパスの具現化により、さまざまな社会課題へ対応



24年度上半期決算および24年度通期予想(詳細)

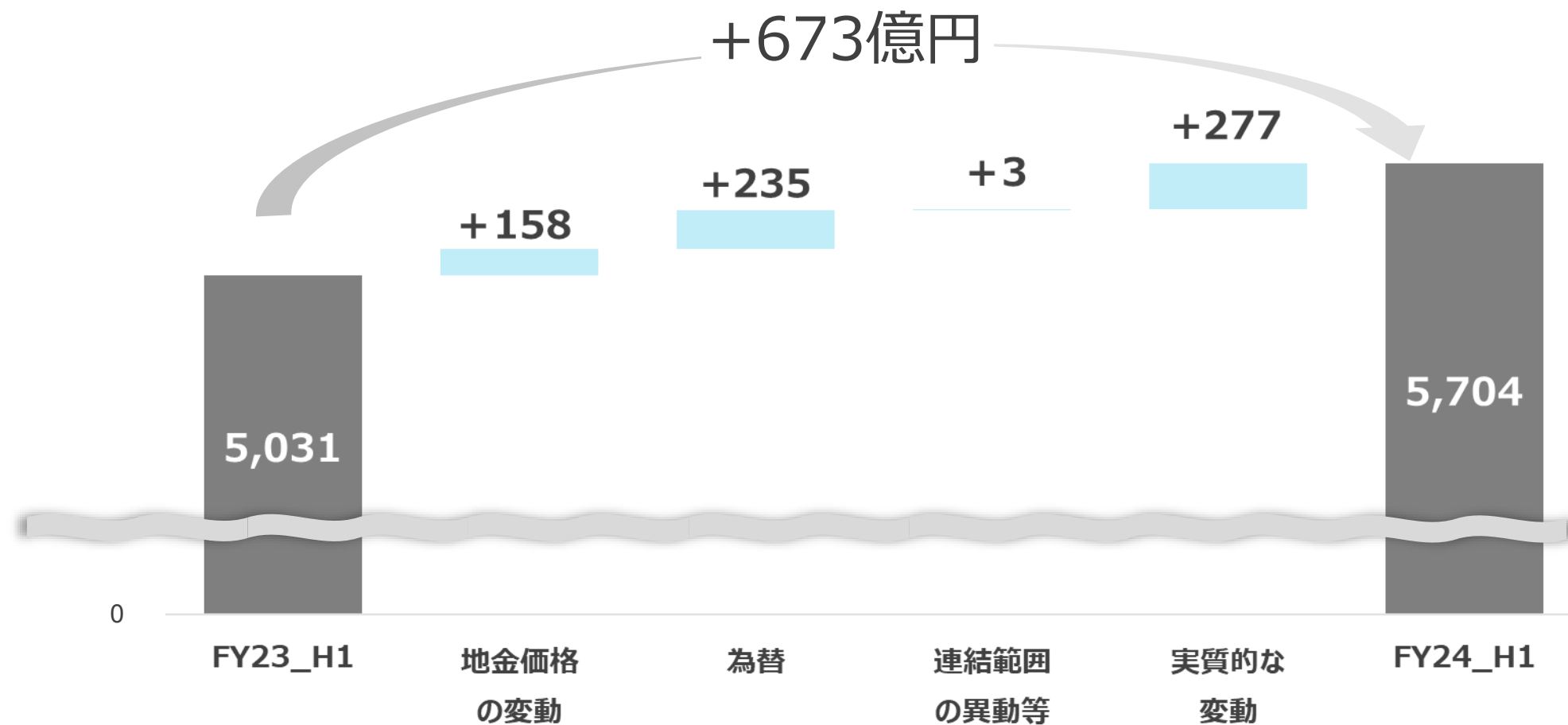
24年度上半期実績-要約P/L

■ 前年比で増収増益、想定を上回る進捗

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY23_H1	FY24_H1	前年比	主な増減内訳
	a	b	b-a	
売上高	5,031	5,704	+673	15ページ参照
営業利益	▲ 46	175	+222	16ページ参照
(率)	▲ 0.9%	3.1%	+4.0	
受取/支払利息	▲ 36	▲ 40	▲ 4	
持分法投資損益	22	62	+40	
為替損益	21	▲ 26	▲ 46	
経常利益	▲ 36	190	+226	
(率)	▲ 0.7%	3.3%	+4.0	
特別損益	35	▲ 31	▲ 66	・特別利益：▲ 48 (63→15)
法人税等	▲ 36	▲ 31	+5	・特別損失：▲ 18 (▲ 28→▲ 46)
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 4	▲ 16	▲ 12	
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 41	112	+153	
(率)	▲ 0.8%	2.0%	+2.8	
銅建値 平均	1,241	1,497	+256	
為替 平均	141	153	+12	

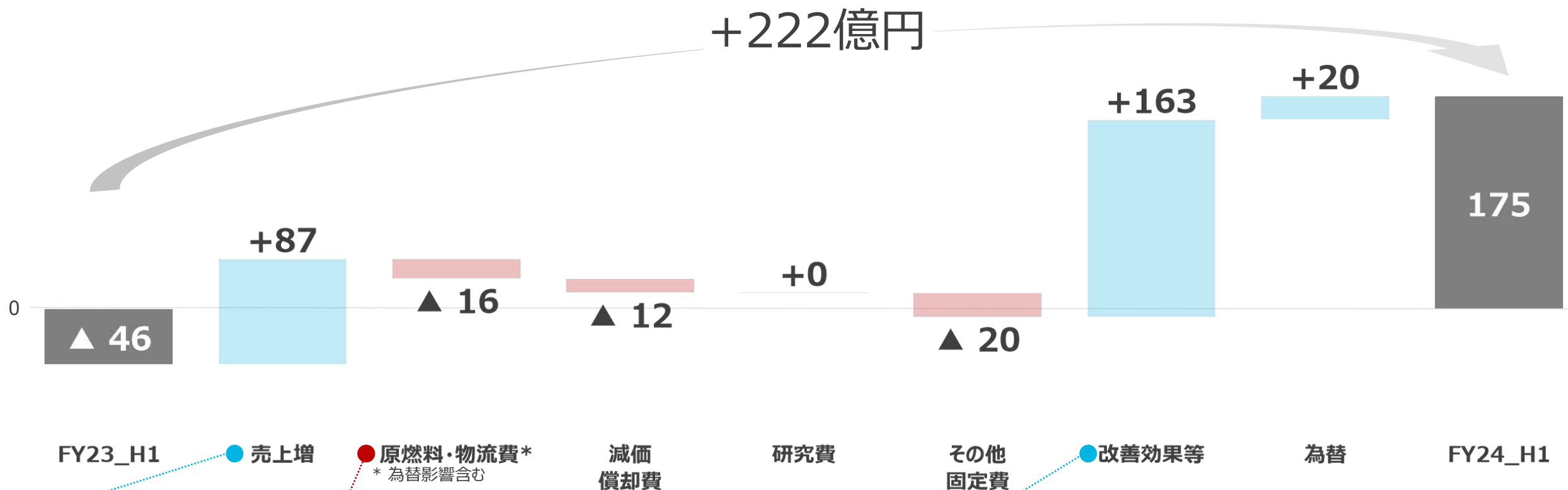
24年度上半期実績-売上高の増減要因

(単位：億円)



24年度上半期実績-営業利益の増減要因

(単位：億円)



情報通信S : ▲ 20
 エネルギーインフラ : +42
 自動車部品・電池 : +28
 機能製品 : +37

情報通信S : ▲ 6
 自動車部品・電池 : ▲ 4
 機能製品 : ▲ 6

情報通信S : +12
 (生産性改善 +22、棚卸資産評価減等 ▲ 10)
 エネルギーインフラ : +25
 自動車部品・電池 : +71
 電装エレクトロニクス材料 : +23
 機能製品 : +26
 その他 : +6

24年度通期予想-要約P/L

■ 売上高および各段階損益の通期予想を上方修正

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	10,565	10,800	11,400	+835	+600
営業利益	112	250	380	+268	+130
(率)	1.1%	2.3%	3.3%	+2.3	+1.0
受取/支払利息	▲ 74	—	—	—	—
持分法投資損益	63	—	—	—	—
為替損益	▲ 1	—	—	—	—
経常利益	103	205	360	+257	+155
(率)	1.0%	1.9%	3.2%	+2.2	+1.3
特別損益	98	40	0	▲ 98	▲ 40
法人税等	▲ 116	—	—	—	—
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 20	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	65	130	220	+155	+90
(率)	0.6%	1.2%	1.9%	+1.3	+0.7
銅建値 平均	1,262	1,155	1,396	+134	+241
為替 平均	145	140	146	+2	+6

好調な市場環境で需要増を捕捉
エネルギーインフラ
自動車部品・電池
機能製品

持分法投資損益の増加

H2前提
銅建値：1,295円/kg
為替：140円/米ドル

* 2024/5/13公表

セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)	売上高			営業利益			売上高					営業利益				
	FY23_H1	FY24_H1	前年比	FY23_H1	FY24_H1	前年比	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回 予想比	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	b-a	c	d	d-c	e	f	g	g-e	g-f	h	i	j	j-h	j-i
インフラ	1,348	1,440	+91	▲ 87	▲ 29	+58	2,782	2,900	3,000	+218	+100	▲ 113	▲ 25	▲ 10	+103	+15
情報通信ソリューション	862	821	▲ 41	▲ 60	▲ 58	+2	1,680	1,750	1,750	+70	-	▲ 130	▲ 60	▲ 60	+70	-
エネルギーインフラ	486	619	+132	▲ 26	29	+56	1,102	1,150	1,250	+148	+100	17	35	50	+33	+15
電装エレクトロニクス	3,087	3,506	+420	29	143	+114	6,537	6,500	6,850	+313	+350	187	210	275	+88	+65
自動車部品・電池	1,804	1,968	+165	23	112	+89	3,798	3,850	3,900	+102	+50	156	165	230	+74	+65
電装エレクトロニクス材料	1,283	1,538	+255	6	31	+25	2,739	2,650	2,950	+211	+300	31	45	45	+14	-
機能製品	557	724	+168	21	79	+58	1,154	1,350	1,500	+346	+150	55	100	150	+95	+50
サービス・開発等	155	162	+7	▲ 11	▲ 17	▲ 6	316	300	300	▲ 16	-	▲ 19	▲ 35	▲ 35	▲ 16	-
連結消去	▲ 115	▲ 128	▲ 13	1	▲ 1	▲ 2	▲ 224	▲ 250	▲ 250	▲ 26	-	1	0	0	▲ 1	-
連結合計	5,031	5,704	+673	▲ 46	175	+222	10,565	10,800	11,400	+835	+600	112	250	380	+268	+130

* 2024/5/13公表

セグメント別 営業利益

■ FY24_H1はサービス・開発等を除くすべてのセグメントで前年比増益、想定を上回る進捗

主なセグメントの営業利益

セグメント	サブセグメント	H1			増減要因（前年比）		通期			
		FY23	FY24	前年比			FY24 前回予想*	FY24 予想	前回 予想比	
		a	b	b-a				c	d	d-c
インフラ	情報通信ソリューション	▲ 60	▲ 58	+2	・データセンタ関連製品等の売上増 ・テレコム関連の受注停滞	想定を やや上回る	▲ 60	▲ 60	-	
	エネルギーインフラ	▲ 26	29	+56	・国内超高压・再エネ関連・機能線の売上増等	想定を 上回る	35	50	+15	
電装 エレクトロ ニクス	自動車部品・電池	23	112	+89	・安定した受注による生産性の改善 ・電池の価格適正化	想定を 上回る	165	230	+65	
	電装エレクトロニクス材料	6	31	+25	・製品ミックス等の改善 ・為替影響等	想定を やや上回る	45	45	-	
機能製品		21	79	+58	・データセンタ関連製品の売上増	想定を 上回る	100	150	+50	
連結合計 (サービス・開発等、消去等を含む)		▲ 46	175	+222				250	380	+130

1-(1) インフラ(情報通信ソリューション)

FY24_H1

減収増益

(単位：億円)

	FY23_H1	FY24_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	862	821	▲ 41
営業利益	▲ 60	▲ 58	+2

【増減益要因】

(+) データセンタ関連製品等の売上増

(-) テレコム関連の受注停滞

FY24_通期予想

増収増益

(単位：億円)

	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,680	1,750	1,750	+70	-
営業利益	▲ 130	▲ 60	▲ 60	+70	-

据え置き

* 2024/5/13公表

状況認識

	>>	FY24_H1	FY24_H2	>>
ファイバ・ケーブル		需要回復基調	顧客の在庫調整の解消 BEAD ^{*1} プログラム等	
光デバイス/ 国内NW 関連製品		データセンタ市場向け需要増		
		下期偏重		

注カポイント

- 汎用品から高付加価値製品・ソリューションへのシフト
- データセンタ・FTTx^{*2}市場での新規顧客開拓と製販体制強化

ローラブルリボンケーブル

ネットワークシステム

ITLA^{*3}・DFB^{*4}

*1 Broadband Equity Access and Deployment Program

*2 Fiber To The x (光ファイバを用いる通信サービス網の総称)

*3 Integrated Tunable Laser Assemble (回路付き波長可変光源)

*4 Distributed Feedback Laser (分布帰還型レーザ)

1-(2) インフラ(エネルギーインフラ)

FY24_H1

増収増益

(単位：億円)

	FY23_H1	FY24_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	486	619	+132
営業利益	▲ 26	29	+56

【増減益要因】

(+) 国内超高圧・再エネ関連・機能線の売上増等

FY24_通期予想

増収増益

(単位：億円)

	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,102	1,150	1,250	+148	+100
営業利益	17	35	50	+33	+15

上方修正

* 2024/5/13公表

状況認識

	FY24_H1	FY24_H2
国内超高圧	堅調な国内更新・再エネ関連需要	
海底線		
中国国内	需要回復は緩やか	
機能線/部品	堅調な需要	

注力ポイント

- 利益重視の受注と販売価格の適正化
- ケーブル製造および工事施工能力の増強
 - 国内超高圧・海底線
 - 再エネ関連
- マーケティング活動の推進による拡販
 - らくらくアルミケーブル®
 - 送配電部品

2-(1) 電装エレクトロニクス(自動車部品・電池)

FY24_H1

増収増益

(単位：億円)

	FY23_H1	FY24_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,804	1,968	+165
営業利益	23	112	+89

【増減益要因】

- (+) 安定した受注による生産性の改善
- (+) 電池の価格適正化

FY24_通期予想

増収増益

(単位：億円)

	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	3,798	3,850	3,900	+102	+50
営業利益	156	165	230	+74	+65

* 2024/5/13公表

上方修正

状況認識

>>

FY24_H1

FY24_H2

>>

自動車
部品

顧客生産計画は概ね安定
自動車生産台数は微増
アルミハーネス搭載車種の増加

電池

車載、産業用ともに売上は下期集中

注カポイント

- 電動車市場に向けた製品開発、自動化

アルミワイヤハーネス・高電圧対応品

2-(2) 電装エレクトロニクス(電装エレクトロニクス材料)

FY24_H1

増収増益

(単位：億円)

	FY23_H1	FY24_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,283	1,538	+255 ^{*1}
営業利益	6	31	+25

【増減益要因】

- (+) 製品ミックス等の改善
- (+) 為替影響等

FY24_通期予想

増収増益

(単位：億円)

	FY23	FY24 前回予想 ^{*2}	FY24 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	2,739	2,650	2,950	+211	+300 ^{*1}
営業利益	31	45	45	+14	-

^{*2} 2024/5/13公表

売上高
のみ
見直し

状況認識

>>

FY24_H1

FY24_H2

>>

車載関連需要は堅調

エレクトロニクス関連需要の回復遅れ

注力ポイント

- 高付加価値製品の拡充と拡販

耐熱無酸素銅条
(パワー半導体・放熱部品用)

リボン線・極細平角線
(5G通信インフラ用)

高機能製品
(抵抗材等)

- 販売価格の適正化と低採算品種の撤退

^{*1}銅価・為替変動の影響を含む

セグメント別売上高・営業利益
3 機能製品

FY24_H1

増収増益

(単位：億円)

	FY23_H1	FY24_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	557	724	+168
営業利益	21	79	+58

【増減益要因】

(+) データセンタ関連製品の売上増

FY24_通期予想

増収増益

(単位：億円)

	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,154	1,350	1,500	+346	+150
営業利益	55	100	150	+95	+50

上方修正

* 2024/5/13公表

状況認識

>>

FY24_H1

FY24_H2

>>

データセンタ関連投資の活況継続

HDD関連製品のサプライチェーン上の
在庫調整は想定より早い解消

スマートフォン・パソコン関連製品需要の緩やかな回復

注カポイント

- データセンタや再エネ関連市場向け高付加価値製品の増産・拡販

半導体製造用テープ

高機能放熱・冷却製品

HDD用薄型アルミブランク材

高周波基板用銅箔

24年度上半期実績-要約B/S

(単位：億円)	FY23末*	FY24_H1末	増減
	a	b	b-a
流動資産	5,178	5,354	+177
現金及び預金	489	517	+29
受取手形、売掛金及び契約資産	2,457	2,471	+13
棚卸資産計	1,836	1,963	+127
固定資産	4,672	4,404	▲ 269
有形固定資産	2,786	2,738	▲ 48
無形固定資産	203	200	▲ 3
投資その他の資産	1,683	1,465	▲ 218
資産合計	9,850	9,758	▲ 92
流動負債	4,009	4,013	+4
固定負債	2,259	2,213	▲ 46
負債合計	6,268	6,225	▲ 42
株主資本	2,849	2,672	▲ 178
その他の包括利益累計額	434	566	+132
非支配株主持分	299	295	▲ 4
純資産合計	3,582	3,533	▲ 50
負債・純資産合計	9,850	9,758	▲ 92
自己資本比率	33.3%	33.2%	▲ 0.1
NET有利子負債	2,841	2,798	▲ 44
NET D/Eレシオ	0.87	0.86	▲ 0.01

棚卸資産 127億円 増加
 (為替・銅価の影響： +37億円を含む)
 売上の増加 (FY23末比 57億円増加)
 将来売上計上予定のプロジェクト・工事案件等 (FY23末比 33億円増加)

有形・無形固定資産 51億円 減少
 設備投資・減価償却費の影響： ▲ 39億円
 為替影響： ▲ 7億円
 除売却等： ▲ 5億円

投資その他資産 218億円 減少
 投資有価証券： ▲ 192億円
 ※主にUACJ株式保有区分の変更(関連会社株式 → 一般株式)

資産合計 92億円 減少
 連結範囲等の変動の影響： ▲ 186億円 ※主にUACJ
 為替影響： +79億円

株主資本 178億円 減少
 利益剰余金： ▲ 178億円 ※主にUACJ株式売却

その他包括利益 132億円 増加
 その他有価証券評価差額金： +184億円 ※主にUACJ株式時価評価益
 為替換算調整勘定： ▲ 32億円

フリーキャッシュフロー	
FY23_H1	FY24_H1
▲ 13億円	+ 91億円

*「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等」の変更によりFY23実績値をリステイト(Appendix参照)

■ 通期予想は据え置き

《2024/5/13公表》

(単位：億円)	FY23_H1	FY24_H1	前年比	FY23	FY24 予想	前年比
	a	b	b-a	c	d	d-c
設備投資額	169	150	▲19	390	480	+90
減価償却費	192	204	+12	390	410	+20
研究開発費	124	124	▲0	245	260	+15

ご清聴ありがとうございました

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。



補足資料 - Appendix

- 事業セグメント別 25中計目標（売上高・営業利益）
- 24年度からの変更点 -B/S-
- セグメントと事業部門

Appendix 事業セグメント別 25中計目標(売上高・営業利益)

(単位：億円)

	FY22			FY23			FY24予想			FY25目標 (2022年5月26日公表)		
	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率
インフラ	3,239	86	2.7%	2,782	▲113	▲4.0%	3,000	▲10	▲0.3%	3,600	160	4.4%
情報通信ソリューション	2,176	65	3.0%	1,680	▲130	▲7.7%	1,750	▲60	▲3.4%	2,300	115	5.0%
エネルギーインフラ	1,063	21	2.0%	1,102	17	1.6%	1,250	50	4.0%	1,300	45	3.5%
電装エレクトロニクス	6,103	47	0.8%	6,537	187	2.9%	6,850	275	4.0%	5,900	235	4.0%
自動車部品・電池	3,374	15	0.4%	3,798	156	4.1%	3,900	230	5.9%	3,300	165	5.0%
電装エレクトロニクス材料	2,730	32	1.2%	2,739	31	1.1%	2,950	45	1.5%	2,600	70	2.7%
機能製品※	1,265	42	3.3%	1,154	55	4.8%	1,500	150	10.0%	1,650	195	11.8%
サービス・開発等	317	▲21	▲6.6%	316	▲19	▲6.0%	300	▲35	▲11.7%	400	▲10	▲2.5%
合計	10,663	154	1.4%	10,565	112	1.1%	11,400	380	3.3%	11,550	580	5.0%

※参考

機能製品 (特殊要因*を除く)	1,142	18	1.6%	1,154	55	4.8%	1,500	150	10.0%	1,433	153	10.7%
------------------------	--------------	-----------	-------------	--------------	-----------	-------------	--------------	------------	--------------	--------------	------------	--------------

*FY22Q4より東京特殊電線(株)連結除外

円/kg、円/米ドル	FY22	FY23	FY24	FY25
銅建値平均	1,209	1,262	1,396	1,085
為替平均	135	145	146	110

Appendix 24年度からの変更点 -B/S-

■ 「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の変更

上記変更に伴うFY23実績のリステイト

	FY23末	
(単位：億円)		
流動資産	5,178	5,178
現金及び預金	489	489
受取手形、売掛金及び契約資産	2,457	2,457
棚卸資産計	1,836	1,836
固定資産	4,672	4,672
有形固定資産	2,786	2,786
無形固定資産	203	203
投資その他の資産	1,683	1,683
資産合計	9,850	9,850
流動負債	4,009	4,009
固定負債	2,261	2,259
負債合計	6,270	6,268
株主資本	2,847	2,849
その他の包括利益累計額	434	434
非支配株主持分	299	299
純資産合計	3,580	3,582
負債・純資産合計	9,850	9,850
自己資本比率	33.3%	33.3%
NET有利子負債	2,841	2,841
NET D/Eレシオ	0.87	0.87
ROE	2.1%	2.1%

Appendix セグメントと事業部門

Segment	Sub-segment	Business Division
インフラ	情報通信ソリューション	ファイバ・ケーブル
		ファイテル製品
		ブロードバンドソリューション
	エネルギーインフラ	電力
		産業電線・機器
電装エレクトロニクス	自動車部品・電池	自動車部品
		電池
	電装エレクトロニクス材料	導電材
		銅条・高機能材
機能製品		AT・機能樹脂
		サーマル・電子部品
		メモリーディスク
		銅箔
サービス・開発等		